倉敷の美しい竹家具

この度は、takeシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に機能を発揮させるために、本書をよくお読みの上、正しく組立・調整してお使いください。
取扱説明書は、大切に保管してください。

ユニバーサルデザイン

take to Desk
take to Wagon
take to Tray
take to Hook

取扱説明書

TEORI

1.使用上の注意

●直射日光が当たる場所や冷暖房の近く、高温多湿になる場所には置かないでください。製品の変形や変色、カビの原因になります。

●製品の上に乗ったり、飛んだり、飛び降りたり、踏み台代わりに使ったりしないでください。製品の変形や、転倒し破損、ケガの原因になります。

●パイプの上に荷重をかけないでください。ケガや破損の恐れがあります。

●床が平らな場所に天板が水平になるように置いてください。

●硬い物で製品をこすったり、下敷きなどを使用せずにボールペンなどの先の硬いもので書きものをしないでください。傷の原因になります。

●製品の上に、直接熱い物や濡れた物を置かないでください。変色や割れ、ひび、反りなどにつながる恐れがあります。

●製品を濡らしたままにしたり、濡れた布などを放置しないでください。製品の反りやフクレの原因となります。濡れた場合は、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

●製品に不安定な物を置かないでください。落ちて破損、床面のキズの原因になります。

●製品を移動する時は、必ず周囲を確認し、引きずったり落としたりしないでください。ケガや破損、製品・床面を傷付ける原因になります。

●ボルトが緩んだまま使わないでください。製品が壊れてケガをする恐れがあります。

●お客様による改造は、故障の原因となります。又、その場合の責任は弊社として負いかねます。

2.保守・点検

●組立後使用し始めて、1ヶ月後には必ずボルトを締め直してください。

●定期的に、約1ヶ月に1度全部のボルトをレンチで締め直してください。

●安全の為、変形や破損した物は使用しないでください。

3.お手入れ方法

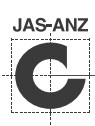
●汚れた場合は、よく絞った布で拭いてください。

●著しい汚れの時は、中性洗剤を使用してください。シンナー、ベンジン、アルコールなどのご使用は、製品に損害を与えますのでご使用にならないでください。

●専用のメンテナンスワックスを使用し、擦り傷や汚れを修復することが出来ます。メンテナンスワックスのご使用方法は、メンテナンスワックスに同封されている説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

◆品質表示◆

製品名・外形寸法：take to Desk （W1060 × D570 × H700 mm）
take to Wagon（W271 × D400 × H340 mm）
take to Tray （W271 × D400 × H56 mm）
take to Hook （ϕ40 × L50 mm）
構造部材：竹集成材単板
ブナ積層合板
表面加工：オイル（自然塗装）
日本製

ISO 9001認証取得

株式会社テオリ 岡山県吉備郡真備町大字服部1807 〒710-1302 URL：http://www.teori.co.jp/
Tel.0866-98-4526／Fax.0866-98-4536 E-mail：info@teori.co.jp

※ISO 9001とは、国際標準化機構（国連諮問機関）によって規定された、品質システム（ISO 9000）の規格の総称です。

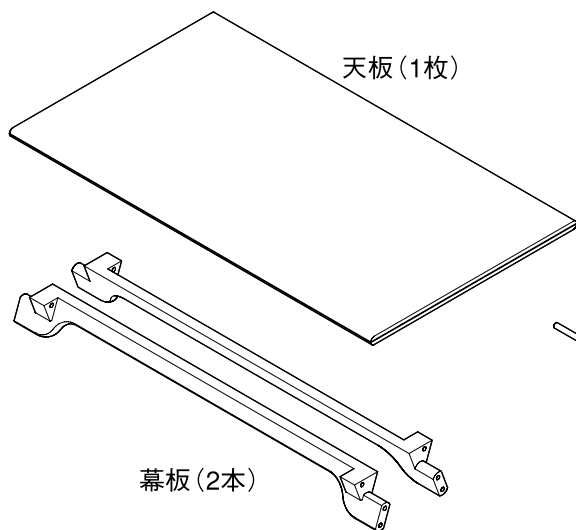
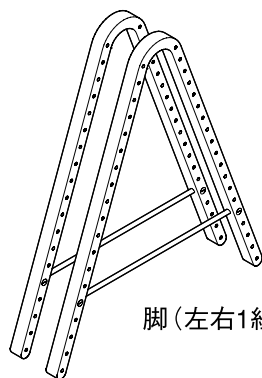
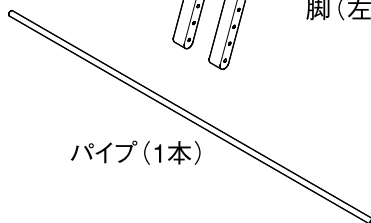
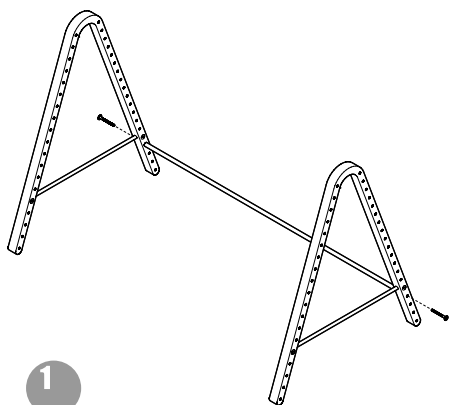
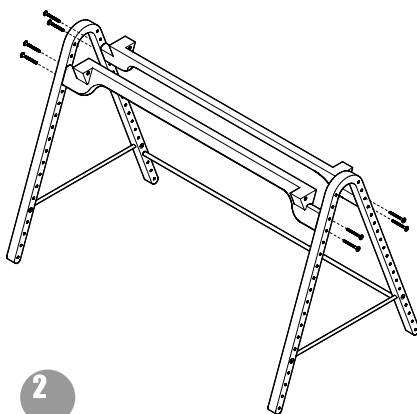
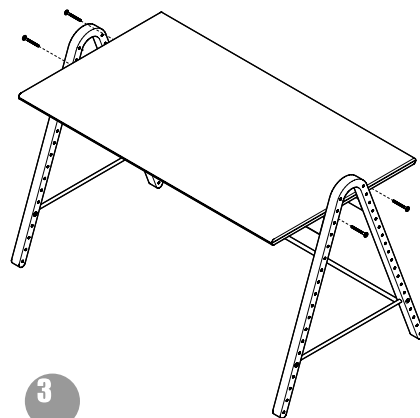
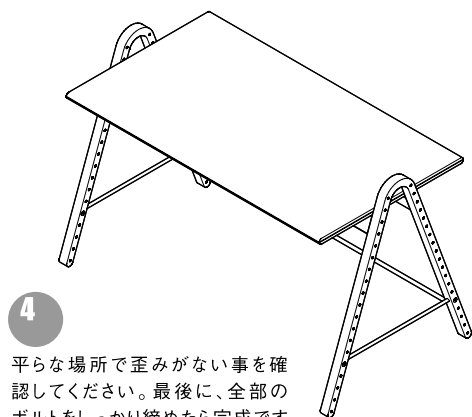
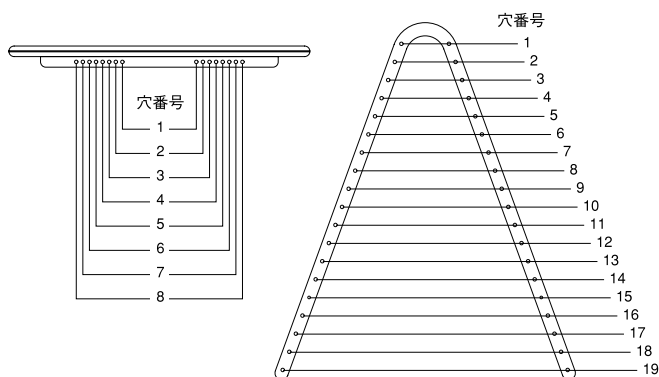
take to Desk

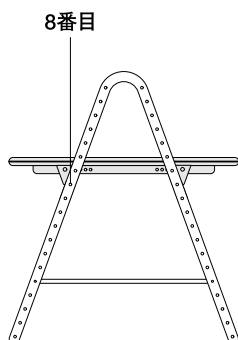
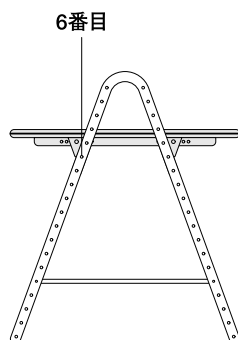
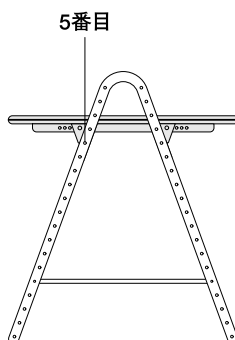
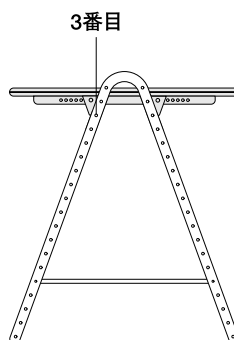
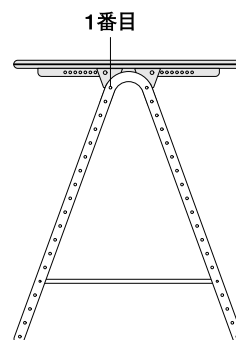
部品説明

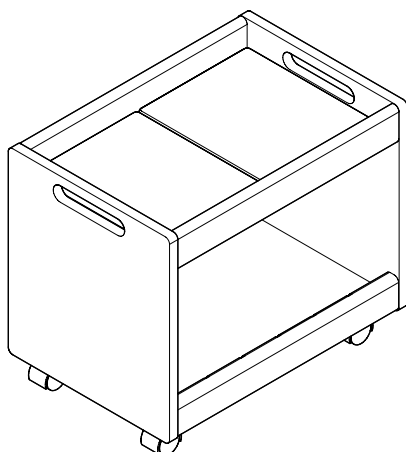
※組立前に、全ての部品が揃っているか確認してください。

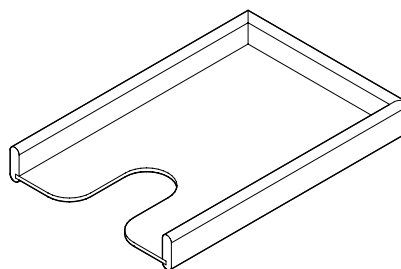
・組立を行なう際は、十分なスペースを取り、床に傷を付けないようにダンボールや毛布などを敷いて作業を行なってください。

・製品には、万全を期させていただいておりますが、万一、不具合や不足部品などございましたら、お買い上げ店、あるいは、後記（株）テオリまでご連絡ください。

・組立作業の際には、手を滑らせるなどをして、怪我や床などに傷をつけないようにご注意ください。

組み立て方

1 脚を上図のように置き、パイプを16番目の穴に左右からボルト2本で軽く締めます。※強く締め付けないでください。

2 タイプに合わせて、天板の高さを決め、幕板2本をボルト8本で軽く締めます。（右ページ上の1～5のタイプを参照してください。）

3 天板を幕板に乗せ天板が水平になる様に、4本のボルトで軽く締めます。

4 平らな場所で歪みがない事を確認してください。最後に、全部のボルトをしっかり締めたら完成です。

天板の高さ調整方法

組立の2～4をやり直して、お好みの高さに合わせてお使いください。
※表示の穴番号位置は全て上から数えた数字です。（左ページの右下のイラスト参照）
※穴番号位置は、2箇所止めの上側を示しています。

take to Wagon

ワゴンの上フタ板をはずして、仕切板として
使用することができます。

take to Tray

A4の書類に対応し、ワゴンの上にも
机上にも積み重ね可能です。

take to Hook

脚穴の任意の位置に取り付けることができます。